

Corporate Profile

UBE三菱セメント株式会社

Mitsubishi UBE Cement Corporation

〒100-8521 東京都千代田区内幸町二丁目1番1号 飯野ビルディング

Tel: 03-6275-0333 Fax: 03-6275-0375

<https://www.mu-cc.com/>

2025.3 5000 MBS



Infinity with Will

ずっと支える、地球の未来を。

社会のインフラを支えつづけること。
持続可能な社会への確かな答えを導き出すこと。
そして、一人ひとりの安全な暮らしを守り抜くこと。

その使命は大きい。
だからこそ、私たちの仕事は、
無限の可能性に満ちあふれています。

この先もずっと、
人と地球の未来を支えつづけていくために。

最高の品質を、
最高の技術とサービスで、世界中に提供する。
環境と調和する未来へ、循環型社会をリードする。

従来の枠にとどまらない
新たな領域にも挑戦します。

UBE三菱セメントにどうぞご期待ください。



〈Mission〉

最高の品質を
最高の技術とサービスで提供し、
地球の未来を支えつづける。

〈Value〉

誠実さと真摯さ

誠意・真心をもって事にあたり、
物事の本質を深く追求する。

個の融合とグループ力

多様な個を尊重し、英知を融合させ、
グループで最高の力を発揮する。

挑戦と変革

前例にとらわれることなく果敢に挑戦し、
世の中の求めに応え革新しつづける。

統合新社から次のステージへ

当社は企業理念を「最高の品質を最高の技術とサービスで提供し、地球の未来を支えつづける。」とし、ビル・橋梁・道路などの社会インフラの整備に向けた基礎素材の安心・安定供給と、循環型社会の発展に貢献することを通じて、地球と人びとの持続可能な未来を、世代を超えて守りつづけることを使命としています。

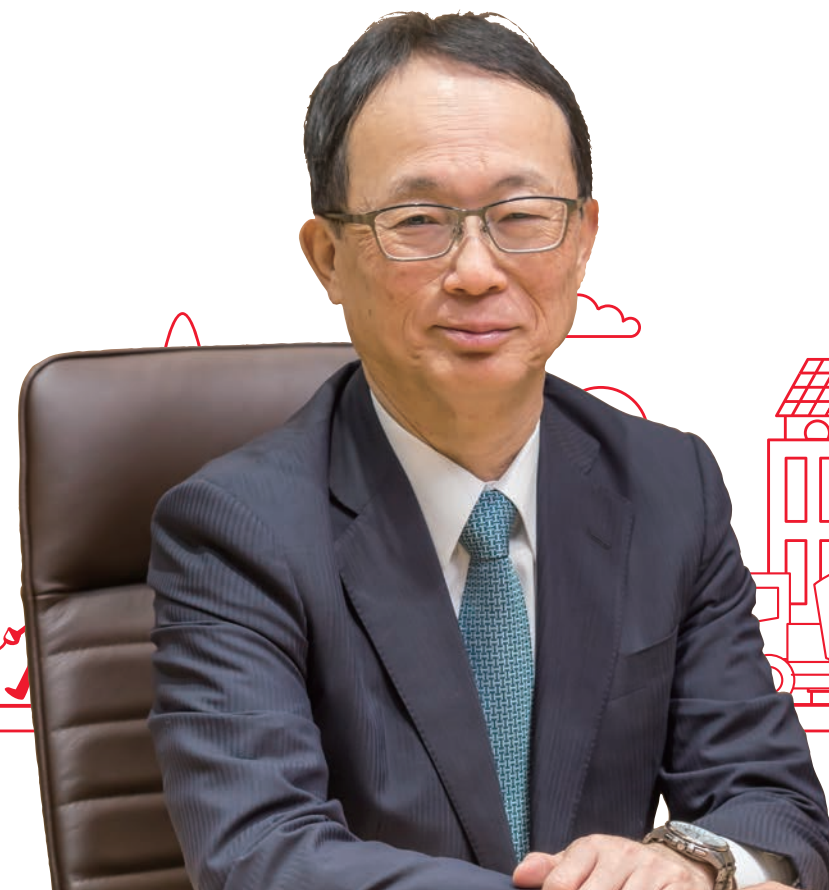
2025年度になり、営業開始から3年間が経過しました。この間、社内の統合・融和が進み、また2023年4月に公表した中期経営戦略（Infinity with Will 2025～MUCCサステナブルプラン 1st STEP～）の利益目標も達成しました。

したがって、2025年度は統合新社から次のステージに入る初年度と位置づけます。現中経で掲げている2030年の当社グループの目指す姿である「統合の深化により業界トップの技術力・収益力を誇るグループ」の早期実現に向けて、各重点課題に迅速に取り組んでまいります。

今後とも、皆様の一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

UBE三菱セメント株式会社
代表取締役社長

平野 和人



国内外セメント産業のトップメーカーとして、 社会インフラ基礎資材の安定供給を担います

セメント・生コン事業では、国内外の社会資本整備に不可欠な高品質セメント・生コンクリートの製造・販売を行っています。各種廃棄物を原料として積極的に活用し、国内最大の生産能力を誇る九州工場をはじめとした全国生産拠点および、全国の生コンクリート製造・供給網を通じて、社会インフラの整備と循環型社会の発展に貢献します。

国内最大級の生産能力と 供給のポテンシャル

豊富な石灰石資源を有する東谷鉱山および伊佐鉱山、日本一の生産量を誇る九州工場などの工場群、宇部地区の大型港湾施設等のインフラ設備や国内外の製造・販売ネットワークにより、人の命と社会を守る基礎資材を安定供給します。



左から、伊佐鉱山、山口工場宇部地区、米国三菱セメント社クッシュンベリー工場、MCCターミナル（ロングビーチ港）

米国西海岸で垂直統合型の バリューチェーンを確立

米国、南カリフォルニア地区で、セメントから骨材・生コンクリート事業領域におよぶ垂直統合を基軸に展開し、地域の発展に貢献してきました。同地区で生コン販売トップシェアを誇るロバートソン・レディミックス社を中心に、川上から川下にいたる事業基盤のさらなる強化を図りつつ、エリア拡張など事業規模の拡大と成長を図ってまいります。



建築・土木資材から生活関連製品まで 石灰石の多様な機能を活かします

資源事業では、当社グループが保有する国内有数の規模を誇る石灰石鉱山から純度の高い高品質の石灰石を採掘し、建築、土木、鉄鋼、化学から、生活関連製品にいたる、川上から川下までの多様な用途に向けて関連製品を生産・販売しています。石灰石や骨材をはじめとして、生石灰や消石灰などの石灰関連製品、地盤改良材などの土木関連製品、無限の海水と生石灰を活用したマグネシア関連製品、石灰・マグネシアを原料とするファイン事業製品や、防虫剤・化粧品などの生活関連製品の製造・販売も行っています。

世界最大級の生産規模を誇る マグネシアクリンカーなど幅広い製品群

石灰関連では生石灰・石灰石の需要が安定的に推移する一方、軟弱土壌改良向け中性固化材の需要が拡大しています。マグネシア関連では国内で唯一マグネシアクリンカーを製造、水酸化マグネシウムスラリーでは国内トップシェアを誇ります。

半導体や自動車関連など 最先端産業を支える

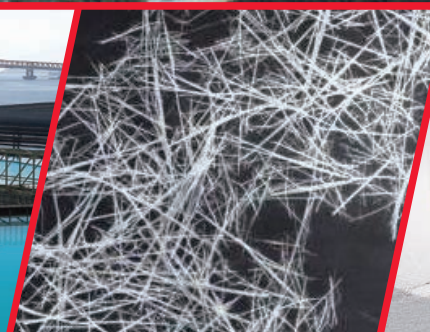
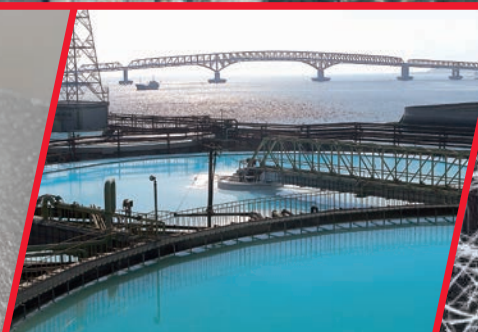
独自技術で生み出したファイン事業製品は、積層チップセラミックコンデンサーなど付加価値の高い半導体向けの超高純度炭酸カルシウムや自動車用樹脂向けの塩基性硫酸マグネシウムなど、最先端分野で活用されています。



伊佐鉱山



東谷鉱山



左から、石灰石、ハイドロリター、塩基性硫酸マグネシウム モスハイジ、セラミド配合クリーム「潤みど」、石灰系固化材グリーンライムLS



環境リサイクルで循環型社会構築に貢献 バイオマスを活用した電力を安定供給

廃棄物を大量に処理できるセメントキルンの機能を最大限活用した環境リサイクル事業、100年以上の歴史で培った石炭事業、石炭火力発電やバイオマス発電で電力供給を担う電力事業で、未来の環境エネルギーを拓きます。

海外一般炭の取扱い能力日本一を誇る「宇部コールセンター」



216MW発電設備

処理廃棄物の受入を拡大、有害物質を含む 廃棄物を1450℃の高温域で無害化

環境リサイクル事業では廃プラスチック、下水汚泥、廃石膏ボード粉などさまざまな廃棄物・副産物を、独自の処理システムによりセメント原料・熱エネルギーとして再資源化することで循環型社会の構築に貢献しています。

世界各地の石炭・石油コークスおよび バイオマス燃料を備蓄・保管する 宇部コールセンター

国内最大規模の貯炭場・宇部コールセンターは、海外一般炭の輸入中継基地として石炭・石油コークスおよびバイオマス燃料を備蓄・中継しています。216MW発電設備を運用する電力事業では、バイオマスを積極的に利用し、地球環境保全に貢献します。



上から、リクレーマ(石炭の払出設備)、低温炭化によりバイオマスの取扱いを容易にしたトレファイドペレット、廃プラスチック処理設備、九州工場苅田第一地区キルン



高機能な建設材料の開発に加え、脱炭素・資源循環に関わる技術開発にも挑戦し、次世代ニーズに幅広く応えます

セメント研究の長年の知見を結集し、流動性、強度、耐久性や低環境負荷等、さまざまなニーズに対応する高性能なセメント・コンクリートやセメント系固化材の開発に加え、廃棄物・副産物の利用技術開発や脱炭素に向けた技術開発にも取り組んでいます。

多岐に渡る研究領域、最先端技術の獲得にも挑む

当社の研究開発領域は、建設材料開発から持続可能な社会構築に向けた脱炭素・資源循環・環境改善の領域まで多岐に渡ります。研究所では、事業領域拡大のために技術・ノウハウを蓄積し、新たな事業創出に向けて先端技術の獲得、将来に向けての研究基盤の強化を継続的に進めます。

研究開発風景
上段左から、コンクリートのスランプ・空気量測定、セメント硬化体の電子顕微鏡での観察、セメントおよび原料の化学分析
下段左から、コンクリートの強度試験、クリンカ試作やリサイクル技術開発のためのラボキルンでの焼成実験（装置および炉内の様子）



❖ 地球環境問題への取り組み

脱炭素・循環型社会の形成に向け 温室効果ガス排出量削減に挑みます

カーボンニュートラル実現に向け、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用、熱エネルギー代替物の利用、低炭素製品の開発、CO₂回収・利用ビジネスモデルの確立等に取り組んでいます。

カーボンニュートラルに向けた 2030年目標を策定

当社は、2050年当社グループ全体でのカーボンニュートラルに向け、2030年にCO₂排出量40%削減（対2013年比）とする目標を策定しました。

これまで蓄積してきた技術やサプライチェーンを有する強みを生かし、セメントメーカー独自の事業性のある脱炭素スキームの実現により、カーボンニュートラルを目指します。

